

平成28年10月14日付けで公告した「平成28年度国有林材(立木)の安定供給システムによる販売」について、協定者を以下のとおり決定しましたので結果を公表します。

### 平成28年度国有林材(立木)の安定供給システム協定者

整理番号	協定者	該当森林管理署	物件番号	林小班	代表樹種	材積(m <sup>3</sup> )	企画提案内容の概要	
1	株式会社もがみ木質エネルギー	最上支署	2	2026へ外15	スギ外	10,299	<ul style="list-style-type: none"> <li>高性能林業機械による生産性の向上及び自社所有のトラックによる経費節減を図る。</li> <li>山元において用途別に仕分け・分別を行い無駄なく使い切る。</li> <li>木質バイオマス発電燃料チップ用として供給する。</li> <li>伐採から運搬まで一貫した生産・流通体制で行う。</li> </ul>	
2	岩手県森林整備協同組合	盛岡署	3	1022い外19	アカマツ外	12,743	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ブランド化事業」「地域型復興住宅事業」に伴う多様なニーズに対応した原木の供給を行う。</li> <li>関連加工施設の人工乾燥機を活用し、KD材・防腐加工材の生産供給を図る。</li> <li>曲材、腐れ材等は合板工場、チップ工場、バイオマス工場と連携し林地残材を残さない。</li> <li>作業に当たっては、鉄管、木製路面排水溝、カルバート、鉄板を使用し汚濁防止を図る。</li> </ul>	
3	株式会社柴田産業	盛岡署	4	1022ろ外21	アカマツ外	7,851	<ul style="list-style-type: none"> <li>高性能林業機械の導入及び樹種別出荷日程管理により生産の効率化を図る。</li> <li>人工乾燥機によるKD材の普及と県産準不燃木材の開発、製造認定書を取得する。</li> <li>用材、低質材問わず全て消費。移動式粉碎機を用いて、林地残材を粉碎し、バイオマス発電所の燃料として供給。</li> <li>作業に当たっては、敷砂利、水切り、敷鉄板を整備し土砂の崩壊、災害防止を図る。</li> </ul>	
4	有限会社二和木材	盛岡署	5	1026い1外23	アカマツ外	9,847	<ul style="list-style-type: none"> <li>高性能林業機械による生産性の向上を図る。</li> <li>高周波乾燥技術を活用し、アカマツ家具材、内装材等、高級用途に向けた納入を図る。</li> <li>森林認証を取得し、国産KD構造材の価格向上による山元還元を図る。</li> <li>全ての長級、さらに低質材まで一括採材の受け入れにより歩留まりの向上、林地残材の発生抑制を図る。</li> </ul>	
協定数量計							40,740	

平成28年12月2日

東北森林管理局長